

「県大アゲイン」(OB 教員による講座) 実施結果
(全学同窓会協力)

1. 開催日時 第1回：2月12日(土) 第2回：2月19日(土)
 第3回：2月27日(日) (いずれも14時00分～16時00分)
2. 会 場 県立大学サテライトキャンパス (名古屋市中村区名駅 ウィンクあいち15階)
3. 対 象 愛知県立大学同窓生及びその関係者(教職員含む)
4. 講師及びテーマ

	講師	テーマ	参加者
第1回	野村 達朗先生 (外国語学部英米学科)	「20世紀アメリカにおけるエスニシティのダイナミズム」	25名
第2回	長谷川 太郎先生 (外国語学部フランス学科)	「死生観について」	29名
第3回	早川 鉦二先生 (外国語学部学部共通グループ)	「今、市政と向き合う –私の退職後の地域貢献–」	37名

○第1回(野村達朗先生)



○アンケート結果抜粋

- ・ポジティブでエネルギッシュな講義をありがとうございました。野村先生の熱い、伝える力に多くの刺激を受けました。90分があつという間で続きが聞きたいくらいです。
- ・野村先生が大変元気で、野村節が健在だったことを大変嬉しく思います。
- ・卒業してから早20年以上経ちますが、今日の講義を聞いて、その間もアメリカのエスニシティは刻々と変化しているのだと感じました。
- ・今後もいろいろな先生のお話が聞けるよう、また参加者も広がればよいと思います。
- ・昔と変わらずエネルギーに溢れた講義を受けることができました。先生のお顔を拝見できて感激しました。

○第2回(長谷川太郎先生)



○アンケート結果抜粋

- ・ 学生時代の講義とは異なる長谷川先生の一面を見ることができました。
- ・ 以前と変わらぬ口調を、大変懐かしく思いながら聞かせていただきました。
- ・ 40年ぶりの講義、当時と変わらない歯切れの良いお話でとても楽しく拝聴しました。
- ・ 「死がこわくない」という先生のお話を、とても貴重に伺いました。
- ・ 80歳を過ぎて、なお素晴らしい講義をなさる先生に大変感銘を受けました。
- ・ 心落ち着くすばらしい講義を聞いて良かったです。
- ・ 戦中、戦後を生きてこられた先生の死生観の中に、かつて大学で教えていただいたフランスのボシエのことなどの関連のお話が伺えて、興味深かったです。

○第3回(早川 鉦二先生)



○アンケート結果抜粋

- ・ 久しぶりの講義、色あせることなく昨日のことのよう、楽しみながら受講できました。
- ・ 先生がご専門の立場からその研究を生かしながらも、一人の住民として市政と向き合っている立場がわかりました。
- ・ 一市民として、市民運動として市政に切り込んでいかれる先生の活動に敬意を表します。
- ・ 「自律する住民」を育成するために、大学で何を学ばせられるか、どう教育を進めるのか、改めて考え直してみようと思いました。
- ・ 「行政は間違いを認めること」という先生の言葉を、素直に受け止めたいと思います。
- ・ 自治体議会はどうあるべきかという問題について、示唆に富む意見を聞かせていただいた。